



横浜市立富岡小学校

学校だより 10月号



「地球と。咲きに行こう。(GREEN×EXPO 2027のテーマ)」



～2027年国際園芸博覧会が開催されます～

校長 黒木 英晴

9月24日の帰りに空を見上げると月がとてもきれいでした。明日は「中秋の名月」(旧暦の8月15日)だと思いながら、小さい頃はススキを取りに行ってお月見団子を供えたことを思い出しました。このところの雨続きで空を見上げる機会が減り、一層きれいに見えたのだと思います。シルバーウィークの連休には、関東地方に近付いた台風25号は、神奈川県内でも大きな被害をもたらしました。現在、台風26号が日本に近付いているので心配しています。豪雨の時にはどうするのかご家庭でも話題にいただければ幸いです。よろしくお願いします。

先週、区役所から届いた来年の3月19日から9月26日に横浜で行われる「2027年国際園芸博覧会」の横断幕を職員玄関上の道路側と南門の金網に技術員さんに設置してもらいました。住民の皆様にも見てもらえるようにと写真の通り設置しました。市内の各学校では園芸博覧会に向けてコンポストが配られ堆肥作りに取り組み今月会場に送りました。横浜で行われる国際園芸博覧会に既に関わっています。各学校から集められた肥料をもとに国際園芸博覧会のメインである花々が元気に育ってくれることを期待しています。この博覧会の開催目的に「花や緑との関わりを通じ、自然と共生した持続可能で幸福感が深まる社会の創造を提案、横浜から明日に向けた友好と平和のメッセージを発信します。」とあります。横浜開港以降、横浜には西洋式公園が作られたこともあり、横浜市は公園が多い都市でもあります。それらの公園の維持管理は地域に委ねられていることが多いです。日本で最初に開かれた西洋式公園は、中区の山手町にある山手公園です。以前勤務していた元街(もとまち)小学校のすぐ近くにあり子どもたちと生活科の時間等によく遊びました。

タイトルに掲げた「地球と。咲きに行こう。」というのは、テーマですが、ホームページには次のようなことが書かれています。「テーマを『地球を』ではなく『地球と』とし人がフラットな目線で、これからの地球と向き合っ、人のいき方を見つけられる。そのきっかけが「花や緑」だそうです。「咲きに行こう」は未来に向かう意味での「先に行こう」にもかけた言葉だそうです。会場には、5つのエリアがあり、最新のテクノロジーに出会えるアーバンビレッジ、日本の伝統的なものづくりが集まるクラフトビレッジ、「農と食」を通じてウェルビーイングを追求できるファーム&フードビレッジ、子どもたちが楽しく遊べるキッズビレッジ、そして自然と人が共存する里山ビレッジだそうです。昨日のニュースでは、三菱グループがライド型展示として、乗り物に乗って自然と共存する未来を体験できる施設が発表されました。楽しみです。

